



紅葉レース

11月14日



各艇一斉にスタート!

「紅葉レース オープンクラス 優勝

ドリーマークルー 佐藤由美子

北の風1~2m。久々のクラブレースに、先週のシマセイキのテンションを引きずりながら参加する我々に2上までトップを走らせてくれた優しいそよ風も第1レース途中でついに姿を消してしまい全艇DNF。

第2レース、風は頼りないだけでなく、我慢の走りをする我々をからかうかのように左に右に大きく振れる。しかし、レース途中『うちは風のあるところ走るから付いておいで〜』と他艇に豪語した充電明けの名タクティシャン大澤氏が、シェイクダウン代わりの乗艇とは思えない絶好調ぶり。そのせいか潮に苦しむ先行艇を下から抜いてフィニッシュ。

今年最後のレースをオープンクラス優勝という良い形で終えることができ、なんとなく気持ちよく年が越せそう。と言う私は、乗っていなかったのです。乗りたかったなあ…」



微風のレースであったが風が入るとそこそこ楽しめたのでは?

上：第1レーススタート直後

左：第1レース上マーク回航中のキラキラ (右) と HeatWave



I RC優勝MOWE

オープンクラス優勝

Dreamer

今回の優勝レポートは懐かしい美女が想像で書いてくれました。



マーク回航中のEMIと海燕2

Ryusei-6



Sprit of Shiwaku

Star of Bethlehem



ガラシヤス

第5回プチクル 淡路島生編 10月23～24日



土生港に集結した各艇

メンバーは三嶋さん、幹事の木下さん、ムータンと私。他に「南風」号、「プクク」号の3艇です。旅館は貸し切りです。大いに盛り上がりましょう!!「よっちゃんイカソーメン」と「カットよっちゃん」の食べ比べをしながら友水へ向かいます。

「なんか、くさくないか?」「警告ランプが付いているぞ～。オーバーヒートか?」「海水が全然出てないぞ～!エンジンルームを見てくるぜ!!」「ベルトがいつか切れるぜ!!なんてこった!!エンジンを止めてくれ!!」「がってんだ!大丈夫か?」「セILINGに切り替えるぜ!!」「予備のベルトが有ったはずだ!すぐに交換だ!」「よ～し、うまくいった!交換できたぜ!予備のベルトがあつて良かったぜ!」「警告音が鳴りやまない!!どうしたんだ?」「冷却水が全くないぞ!!空っぽだ!!ミネラルウォーターでも入れてやろうぜ!!」「鳴りやんだぜ!!成功だ!!おおっと、友が島に流されてきたぜ～!アップネ～」と、何とか無事にハブニングを乗り越え、友水を通過。土生港の入り口までやってきました。無事に全艇、着岸完了です。今日は土曜日で釣り客が多い。沼島への連絡船が頻りに出入りしています。幹事の木下さんが仕事を終え、車でやってきました。チェックインまでしばらく休憩です。今回参加のメンバーです。全員で12名。旅館の送迎バスで旅館へ移動です。運転は幹事の木下さんです。幹事さんは大変ですね～。ここ数年、車の中がかかってくるミュージックは全く変わっていません。我が兄貴「鳥羽一郎」の歌が、がんがん流れています!!「♪波の～谷間に～命の～花～が～♪」一緒に船で来られたら良かったのに・・・残念。今日のお宿は「はぶ荘」です。夏はハモ、冬はブグのフルコースは最高ですよ!!今回は、淡路名物「宝楽焼きコース」です。お部屋で一服したら、バスで温泉に行き「ゆーぶる」に到着。お盆や、お正月は入れないくらいですが、今日は案外すいています。風呂上がりにはデッキで早速フルーツ牛乳を一気飲み!は～お腹すいた～。旅館に戻り、いよいよ宴会の開始です。涼みマシヨ。ましよう。乾杯!!この季節はワタリガニが解禁だそうです。ワタリガニはカニみそがたまらなくうまい。お造りの盛り合はサヨリ、イカ、伊勢エビ、ヒラメなどボリューム満点。カニ・エビがだめな人はオコゼの薄造り!!大きな顔がコチラをにらんでいます。怖い顔!!「宝楽焼き」が重宝してきました。想像以上にボリューム有ります。鯛やサザエなどが蒸し焼きになっています。良い香りがしてきます～。鯛のお頭をゲットしてホジホジして食べます。土瓶蒸し。松茸の香りがプ～ンします。大きなハゲの煮付けは大きな冊子最高です。ウまい!!エビ・カニだめコースの方には大きなオコゼの唐揚げが出てきました。少しいただきましたが、これがまたサクサクサクサクでとってもおいしい!!今回はオコゼコースに決まり!!やね!お腹一杯の皆さん。伊勢エビのおみそ汁やおコゼのおみそ汁のあとは、デザートをいただき満腹です。寝る前に、アイスをいただき大満足でした。皆さんは夜遅くまで、アツク語り合っていました。

今日は天気は崩れる予想なので早に出航の予定です。朝食は、いつも豪華です。品数もたくさん出てきます。楽しかったですね～。沼島からは続々と船がやってきます。ここまで漁船でやってきて、買い物に出かけたりするのでしょね。出航です。どこかで見たボートが魚釣りをしています。「アミーゴ・トモ」号の藤木さんではないですか。釣れていますか?」「????」だそうです。ゆらゆら揺れて皆さん少しダウン状態でした。楽しかったクルージングも終わり、無事に帰航しました。今回はトラブルもあつたけど無事に乗り越え、良い経験になりました。備えは大事ですね。もし一人で航海中だったらどうしただろう?オランダからゲストが来られたようです。また、賑やかになりそうですね。(ゼロ服部)

準備中の南風



ZEROトラブルの原因となったベルト(本文参照) 愛艇の点検はこまめにしましょう



トラブルを乗り越え順調に進むZERO



参加者がそろった所で

ハイチーズ!



本日の宿「はぶ荘」です



食事の前に温泉施設「ゆーぶる」でさっぱりします。



豪華な料理のオンパレード 味も最高!!



上: デザートです 左: 満腹になってくつろぐ参加メンバー



朝食もボリューム満点

曇ってきています。
早めに帰りましょう



帰りに釣りをしていたアミーゴトモ号に遭遇。釣果はいつものとおり「?????」(冗談)



トラブルもありましたが無事淡輪に到着しました



シマセイキカップ 11月6・7日

和歌浦セーリングフェスティバル参戦記

Star of Bethlehem 茶谷

第8回 SHIMA SEIKI CUP が11月6日、7日に開催された。我がチームは7日のフェスティバル部門に、バウマンの欠場、さらにピットマンが指の骨折で100%でない状態の5名で臨んだ。IRCが18艇、フェスティバルが24艇がエントリーし、淡輪のクラブレースでお馴染みの艇が多く名を連ねた。今年は、仕事の都合でレース前日の回航となり、「ウェルカムパーティー」に滑り込みセーフで、「マグロ」にあり付くことができ、満足満足・・・エネルギーを蓄え明日のレースに期待を夢ふくらませ“風吹くな”と祈って床についた。

一夜明けると小雨混じりの強い風、これは“まずい”と思いながらハーバーに到着、艇長会議が始まる頃には風が落ち、微風スタートとなりそうでひと安心！9時ジャスト上マークを打たずにスピンスターするIRC艇を見届け、15分後のスタートをイメージしポジショニングに入る。コミッティー側を選択、P旗が降下しカウントダウン、見るみるコミッティーよりに艇が集まり混戦状態、大きな声が飛び交うなか海燕の後に付けラインに詰める。下側からラインに沿って迫ってくる Spirit of Shiwaku と Dreamer の上のポジションでうまくスタートが切れた。ジブで我慢して少し前に出たあと Shiwaku の後尾でスピンを上げ一路沼島を目指す。波がなく5~6ノット前後の軽風、Dreamer の上で併走し、いつもならスピンランで引き離されるが、どうしたことか今日は何時になくよく滑っていい感じ！コースをやや南よりに落とし徐々にDreamer はじめ他艇を引き離す。各艇、南へ北へと艇が南北に広がる展開、遙か南側にEMI？我が艇との中間にガイナーゲル、遙か北よりに1艇 Risotada？と、これら3艇がトップをキープした。レース中盤、北寄りに風が振れライトゼノアにセールチェンジし、その後も上りで他艇よりスピードに乗り、気がつけばトップを走っていた。沼島マークが近づくにつれ風が落ち、マーク手前で一時無風状態、またもやノーレースかと脳裏をよぎった。しかし諦めずに乗員5名一丸となって「神頼み」、その思いが通じてかついに女神が手を差し伸べてくれ、後方よりかすかに吹き出した風をつかみ後続艇のEMIに8分差で12時59分にフィニッシュした。フィニッシュできたのはEMI、ガイナーゲル、Dreamer、Risotadaの5艇で、引き続きの復路はノーレースとなった。価値あるトロフィーを勝ち取ることができ、メンバー皆で喜びあった。

紅葉レース成績表

クラス	艇名	艇種	着順	総合順
IRC	Mowe	Y-30SN	2	1
IRC	star of bethlehem	SEAIS-R34A	1	2
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	3	3
IRC	EMI	Mumu36	4	4
オープン	Dreamer	far31	1	1
オープン	グレイス	FS-28	5	2
オープン	sprit of shiwaku	mumu30	2	3
オープン	海燕II	X-99	3	4
オープン	HeatWave	Farr-25PL	4	5
オープン	キラキラ	Y31S	6	6

訃報

大阪ベイ淡輪ヨットクラブ 初代会長 米山 光男様が享年91歳にご逝去され、11月16日に和歌山市斎場で告別式が執り行なわれました。

ここに生前の当クラブへのご貢献に深謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大阪ベイ淡輪ヨットクラブ
会長 市川 晴朗



表彰式でのベツレヘムチーム

いらっしや〜い

船客淡来 外国艇次々と淡輪へ



イギリス艇「SUNSTONE」寄港

11月29日1030英国籍の「SUNSTONE」が入港しました。乗り組みは Tom & Vicky 夫妻でニュージーランド在住の英国人。フネは木造、ニス塗の美艇。米国に住む母上が高齢、病気のため12月8日に空路米国へ一時行かれますが、年末には復帰、しばらく淡輪へ滞在、艇のメンテの予定。分かりやすいキングズイングリッシュを話す気さくなご夫婦です。友好親善を深めてください。(吉田記)

フランス艇「MARIANNE」寄港

12月6日夕方、フランス艇「MARIANNE」入港しました。

55ftのケッチで内外装とも優美。

乗り組みはニュー・カレドニア在住のフランス人

Joel氏(63歳/医師)とクルーPascal氏の二人で、Pascalさんはすぐに下船・帰国、

Joelさんは艇を淡輪に置いて一週間後に一旦N. C.へ帰国し、来年4月に復帰し、アラスカ向け出港の予定 だそうです。

これで淡輪ハーバーには合計4艇の外国船が越冬することになりますが、さらにシングルハンドのN. Z. 艇が入港を希望しているとの噂もあります。

これも淡輪はハーバーも人も暖かいからでしょうか。



入港後記念撮影



ジョエルさん(左)とパスカルさん

クラブパーjuryタ
オルを贈呈
本場の英語を聞く
いい機会です。ぜ
ひ友好を深めてく
ださい。



淡輪へようこそ!!

かんぱ〜い!

ウェルカムパーティの様子(パスカルさんは帰国中)



ウェルカムパーティの様子



みんなで船を訪問してパーjury交換とタオル進呈をしました

外国艇とのパーティーに参加して友好を深めたい方は、HP等で外国艇入港の情報があればクラブに問い合わせして下さい(格安ですが参加費要)